

12:20 休憩後

大村：新聞報道 情報の管理の徹底に努めていただくよう正副
広報なごや 遺憾 厳しく注意をさせていただく

局長：議事進行について説明。

マスコミ等への管理 影響度が高いため情報管理には細心の注意を払う
広報なごや 4/28 2万人アンケート概要ベースに作成と説明
アンケート項目など議論 事前に報告しなかったことを反省
今後は議会へ報告・協議して進めていく
大変申し訳ない

田辺：10:30 12:20 まで休憩

副委員長だしてない 全くわからない
そもそも今日の所管事務調査 議案 事前審査の可能性
当局からどのような答弁
まともな議論ができると思うか？
情報管理を徹底する 記事の肯定も否定もない
えらい違いになる
考えるいとまもない あまりにも配慮がない

大村：正副で協議 開始をさせていただいた
配慮をさせていただいたうえで進めていきたい

田辺：代表者会もあるわけ。減税・民進・自民だけでやっているわけではない。
あなたが言い出さないとだめ。

大村：今後配慮する
2万人アンケートの結果
設計予算等提案する方針
事前審査にならないよう調整している
当局にも注意してほしい

局長：2万人アンケート結果
昨年度より審議いただいた。
3月には竹中を優先選定 協議・確認を踏まえて検討
2万人アンケートと報告会を行った。

総務課長：資料説明

江上：回収率 36.5% 報告会の参加 人数が少ない
当初は少なかった。市民の関心が低いと感じているがどう思うか。

館主幹：アンケート回答 7000名 報告会 876人

多くの人に知っていただきたい。ネット視聴回数 1919回

一定程度市民にもご理解いただいていると思う。

アンケート 約8割進め方を知っている。

市民の方 議論しているのは認知していると思う

江上：タウンミーティングより上がっていれば盛り上がっていると言えるが、ぐっと少ない。ますます関心が減っていると思う。

問9 その他 ご自由に欄は何があったか、どう示されるか

館主幹：問9 福祉を優先すべき

ハイブリッド再建を検討すべき。基礎・石垣を重視すべき。取り壊して更地に。

ご自由に欄 あとで

江上：今後欄の内容を報告するのかもしれないのか。予定

館主幹：結果はホームページ等で公表する。

その他欄をおもなものをお知らせしたい

江上：2020年までに間に合わせようという声はなかった。

問9 「耐震改修した場合40年の寿命」と書いてある

40年しか持たないのであれば別の方法でというのが普通。

参考人質疑でも40年にはこだわらないと言っていた。

40年にこだわるのか

「耐震改修」と「コンクリート劣化」は別問題。

「耐震改修」0.6を超えないといけない 29億円

コンクリート劣化について何も触れていない。アルカリ性 鉄筋がさびついてきたら問題。

調べたところ40年もつとあるが、なんら方策はない。

酸性化させない方法、鉄筋のさびを止める方法をやられていない。

事実として書かれていない。

これでよいのかを確認したい

渡辺主幹：耐震結果とコンクリート劣化については委員おっしゃる通り。

40年については。

江上：アンケートは耐震改修しか書いていない。

コンクリート劣化について書かないとアンケートやる意味がない。

コンクリート劣化について調査をして金額を明らかにしたことがあるか

渡辺主幹：中性化については算出したことはない

江上：6年前に調査した事実で40年だが、劣化について分からない

こんな表現をしていいのか。

中性化、さびについて明記してアンケートすべき

館主幹：現天守閣 耐震とコンクリート劣化

一時的には改善するが抜本的な対策にはならない

今回アンケートを実施することにした

江上：木造化しても初めは耐震性があるが、だんだん悪くなっていく

きちんとした書き方がないのが問題

渡辺主幹：建物自体は長く持たせるためにメンテナンスが必要

木造復元した場合メンテナンス

耐震改修 築56年

コンクリート劣化どの程度持つかわからない

江上：それでも耐震26.3%いる

市長がさんざん説明した2020年までが21.5%

もっと多くの数字がでたのではないか。

2020年までの提案は否定されたと思うが、当局としてはどう思うか

館主幹：今回のアンケートで多かったのは「時期にとらわれず」「耐震改修」「2020年木造」

民意の一つとして取り上げる 今後考える

江上：2番について否定するものではない

2020年木造化 真摯に受け止めるのであれば否定されたと思うのが当然

中間報告 マスコミ報道

市長「自分の考えは揺るがない。耐震は低い」何のためのアンケート？

真摯に受け止めて市民に説明するのが進める人の当然

館主幹：市民のお考えなので民意の一つ

耐震の問題、様々な課題 総合的に判断して方向性を決めたい

江上：2020年木造化は否定された

情報についてアンケートを見てもいい加減。

しっかりしてどうしていくか 名古屋市としての姿勢をはっきりしたい

鎌倉：カラーの説明 6ページクロス集計

「参加した」2020年、とらわれず 大きな数字になっている

「理解できた」大きな数字

館主幹：議員ご指摘の通り

鎌倉：情報伝達が必要 情報提供すれば理解が得られる

耐震よりも木造 工期は別として望んでいる。

詳しく説明する場があるのか？

館主幹：現時点では説明会は予定されていない

各区の区政協力委員会、出前トークなど希望があれば説明させていただく

鎌倉：6月定例会で議論があるかもしれないが、

名古屋城天守閣の意義、内容を説明していく必要がある

塚本：「グラフの数字を足す」のは疑問

木造6割を超えたと考察

2020年ターゲットを絞った設計と金額

2020年までに完成か、長期的かは別個

「足して6割を超えた」表現

館主幹：委員ご指摘の通り 2020年7月21.5%

とらわれず40.6%

木造とすれば6割を超える

塚本：「6割を超えた」結論が出ない

何を考えるのか 何も導き出せない

部長：数字の最終的な結論はそのとおり。

天守閣の耐震性がないことを踏まえると、今後考える。

塚本：6割を超えたことはどういうことか

部長：「木造復元は6割を超えた」一定の理解を得られている

塚本：2020年6月にとらわれないでよいか

部長：そういったことと、いまの耐震性能と併せて考えるべき

塚本：市長は2020年にとらわれない2つあるということか

部長：この場でご議論 当局は具体的案 1のみ

2は具体的なものまで煮詰まっていない

塚本：なぜ60%足したのか

部長：事業を進めることと、アンケートから読み取れるのは別

木造については市民の一定の理解を得られている

中川：考察なのでいろんな考察 足されるのは1つ

例えば某民法1000人アンケート

2020まで9% とらわれず34% 耐震54%

フリップ 賛成9% 反対91%

一つの考察ではないかと思うが、誤りなのか？ご見解を

部長：委員ご指摘 民放番組の考察は賛成9%もあると思うが、今回は2万人アンケート

中川：考察なので自分にとって都合のよい、扇動していききたい

平等な考察、公平な考察が求められる

局長、上の2つ 1つの考察

40.6%と26.3%を足した考察について考察について欠けているのではないか。

平等、公平にすべきではないか。

考察の見解はどう考えているのか

局長：40.6%と26.3%を足した考察を持っていない

いろんな足し算 市民がどう考えているのか 推測する必要ある

中川：考察を持っていない

数字の考察を持つべきだ。

この足した考察を出してもらいたい

公式見解を加えてほしい。正副委員長にお願いしたい

大村：正副で預らせていただきたい

中川：預かりでは困る。局長が発言した。

きちんと取り扱ってほしい。

大村：今話をいただいたので、局に要望したい

局長：考察して記載をしたい

丹羽：耐震補強の問題、アンケート

耐震補強 前のデータのまま いかにも悪いように

技術提案ではないが、コンクリート長寿命化真剣に取り組んでいる業者はいっぱいある
4年間に完成させるのは技術提案

耐震は通り一遍

1000人アンケート 木造化について賛成か反対か

賛成11.5% 反対70.8%

400通 賛成8 反対81%

ほぼテレビ局に近い数字

先週金曜日 市民が行う報告会 市民討論会

同じアンケート 50数名 2020年までに木造化1

木造3 耐震25 その他6

2万人アンケートとかい離しているが

館主幹：無作為抽出で、正しい情報に基づいて資料を付けた

今回出てきた数字についても一定の民意を反映している

丹羽：どう無作為をしたか

館主幹：コンピュータで無作為に抽出した

区ごとの人数は出せたが、なんら誘導するものではない

丹羽：市民向け報告会 結構高い

参加した人に送ったのではないか？

館主幹：市民向け報告会の案内を送った

チラシをみて参加した。

丹羽：4年以内の数字が多いと思うが、「21.5%しかない」

腹に落ち切らないものがある

木下：中川委員の意見に賛成

2万人アンケートについての委員会

「民意の一つ」軽い扱いではなく、「これが民意」前に進めない

何のためのアンケート 都合がよければこれをたてにやるんでしょ？

難しい話ではなく簡単な話。答えは出ている。

「民意の一つ」いい加減な答弁。

もっと真剣に受け止めるべき。

他の民意はどこにあるのか？

館主幹：タウンミーティング、市民向け報告会、出前トークで説明してきた

名古屋城耐震性能 さまざまなことを踏まえて方向性を決めていきたい

2万人アンケートは1つの意見

木下：H26.2 ネットアンケート70%耐震 今回26%

15%木造→60%木造

言っていることを真剣に取り上げてほしい

「2020年までに木造してほしい」こういう数字が出ている

数字をそのままうけとめていくべし。

1年後アンケートとったらどうなっているかわからない。

きちっとした回答をしてほしい

田辺：アンケートの方式 くみとれることは限界がある

1つの選択肢を取る

残った選択肢は否定される

問9 1, 2, 3

1 1 どういう選択肢になっていたか教えてほしい

館主幹：1 2 2020年までに優秀提案までに木造復元（505億円）

2 2020年までに木造復元（契約方法の検討必要）

田辺：回答した方は2020年7月 期限、工法、金額を支持した

2 工期・工法、金額は指定されていない

私は1は21.5%しか支持されていない 竹中工法・金額も支持していない

「1, 2足して木造」乱暴

1 21.5% 竹中案を支持しなかったと理解していいのか

部長：委員ご指摘のとおり21.5%支持した

他の選択肢を選んだ。

8割が反対したとは認識していない

田辺：40.6%は竹中案を支持したと言えるか

部長：木造を支持した 再度工期・金額を検討して

田辺：牽強付会 自分たちのオピニオンに引きつけている

竹中を言っているわけではない

部長：今の質問についてはそこまでの認識を作ったわけではない

2 それ以外 具体的なものが決まっていない

田辺：しらばっくれている

最終案固まる前 委員会の中ででてきた問9 市長からいいよ

上記1, 2以外の整備案 その他（2020年にとらわれずなど）

表現の変え方が意に添わなかった

竹中案以外は一目瞭然

あなた方の腹の中では聞いている

部長：委員ご指摘の通り4/22委員会で3択で→現在のようにした

具体的なものではない

2番は竹中案は入っていない

田辺：2番は竹中案は入っていないと答えてくれた

1.2と併せて6割はともかく、40.6%は竹中案は支持していない

21.5%しか支持されていない案を採用するのは難しい。

「民意の1つ」今回7000人に聞いた

もっとも聞いた人数の多い民意はなにか？

タウンミーティング、説明会、

館主幹：今回の2万人アンケートが一番多い

田辺：重みはどうか

館主幹：7000人もの意見として受け止める

田辺：同じか違うか

部長：説明会は数字としては取っていない

何人という重要性はある

田辺：数字で示されたものはわかりやすいのかわかりにくいのか

館主幹：わかりやすい

田辺：そのとおり。分かりやすくても多いものは重きをおくべき。

冒頭、新聞記事 調査費数千万補正予算？

肯定も否定も聞いていない

今当局としては竹中優秀提案とする 具体的な計画

名古屋案として出てこないといけない

秋から工事が始まり、石垣と天守閣同時

調査費を6月定例会に盛り込むのはあり得ない？

竹中案と別にするのか？

今現在は名古屋市の考え方は竹中案1本か？

名古屋城所長：天守閣整備は竹中案のみ

田辺：石垣も含まれていると承知しているが

名古屋城所長：その通り

田辺：石垣の調査費 ないのだろう 私は

もし出すのなら切り離してやってくれ

名古屋城所長：補正予算の内容はこの委員会の議題ではない

いろんな検討はしている

田辺：竹中案に含まれていない石垣も存在するのか

名古屋城所長：竹中天守閣 天守閣に関係のない石垣もある

田辺：クロス集計、理解できた 高めに出ている

民間事業者の提案を理解できて2020までに支持 全体として10%

ごくごくわずかな人が2020年7月を理解した

竹中案ではなく、もうすこし違う工法、案で木造化を目指しているのかな？

藤沢：当局案としては竹中案、民意は1つ

「アンケートを受けて名古屋市の方向性を決めていきたい」でよいか

館主幹：結構

藤沢：市長も含めて市長の見解 今の段階では決まっていなくていいのか

部長：6月議会があるので議会の予算との絡みで

6月議会で議論させていただきたい

藤沢：方向変換することを議論しているのか

局長：方向転換ではないが、アンケートを受けて市長と議論していく

補正予算が予定されているので、反映していく

藤沢：今日現在は申し上げられることはそうだが、

補正予算段階で申し上げる

局長：財政からも了解

6月議会で補正予算に提出予定

藤沢：「今までいえんが方向転換」

なんのために今日議論していたのか？

局長：今日はアンケートの報告

予算の準備があるので、アンケートに基づき答えを持って議論したい

藤沢：アンケートを踏まえて名古屋市としてはどういう方向性になったか言えるのではないか

局長：平成28年4月22日委員会 竹中工務店見直し工程案

設計予算 関係予算6月提案

現在竹中と協議しながら6月提案予定

藤沢：基本的にはアンケートを見ても変わらなかったでよいか

局長：あるとすれば熊本地震があった

緊急性も勘案していかないといけない

今の補正予算では反映していこう

藤沢：方向性は決まっているのか？

今日のアンケート審議をしてくれ こちらかもしれないが、なにをやっているのか？

局長：「決まっています」ではないが、アンケートを報告する

藤沢：熊本地震以外に変えたことはあるのか

局長：アンケートの重みがあるが、分析考察して市長に報告して判断してもらっている

藤沢：まもなく補正予算が出てくる

何のためにやったの？何も変わっていなかった？

それが河村市政のやり方か？

局長：木造復元は足すと6割賛成と考察。時期の問題はある。

市長のご判断があった。

藤沢：市長は民意は関係ないということだな。

2020年までは2割。素直に読めばこだわらない案が出てくると言うことになるはず？

市長は何と言っているのか？

局長：考察に書いてある通り。木造化6割賛成。耐震性能が低い。早急に対策施さないといけない。

あわせもって6月補正で提案。

藤沢：「市長 二万人アンケートを無視して施策を進める」書いてもらわないと。

中川：謙虚に受け止めるべき。その姿勢については

局長：そのとおり

中川：耐震、熊本城 アンケートを踏まえて 謙虚に

おもな意見 収支計画 見込みが甘い 想定より少ない場合に責任を持つのか

「試算が甘い」当局の見解を

どのように見込んだのか？

館主幹：入場者見込み 他城閣の実績、補助金や寄付金は見込めない

姫路城、熊本城の実績に基づき算出

中川：甘いことについての見解は？

館主幹：一定程度の根拠に基づき試算については見込みがある

中川：本当にそうだろうか。ボストン美術館 あおなみ線 いろいろある。

当局の見込み 的中したことは議員21年していまだにない

ボストン美術館 大変 非常に危惧している

「この入場者数で絶対いける」我々も認めてきた

学習し反省しないと。

当局が試算するものだけでよいのか？専門家・専門業者 収支計画・入場者 出してもらっては？

「だれが責任を持つのか」

神のごとく正しいように書かれている

謙虚な数字を出していくべき。

マックスで見込むのではなくミニマムで。

せっかく耐震について対応するのなら、収支計画でも第三者の意見を聞いていくのが必要ではないか？

局長：確かに委員指摘の通り。

外部の目は入っているものではない。

大阪城民間運営参考事例があるので、勉強に行き入場見込みをご意見をうかがうことも考える

中川：答弁できるとは思えないが、今の局長答弁を踏まえて第三者、外部に意見を聞く

6月議会では第三者、外部を踏まえて提案をしてほしい

大村：正副でも検討

他都市調査

田辺、ご一任はいいが、委員の配慮してほしい

他委員会ではつまはじきにされた